

いつもお世話になり有り難うございます。今年の3月11日で東日本大震災から4年が経ちましたが、まだまだ復興が進んでいない状況を見ますと、被災地支援を継続していかなければならないと強く感じます。本市も南海トラフ地震の危険性が高く、学校校舎・福祉センター・橋などの公共施設耐震化を進めてきましたが、市役所本庁舎や市営住宅など耐震化されていない公共施設の耐震化を早急に進める必要があります。さらに身近にある集会場の耐震化を進め、日頃から地域で助け合い、防災訓練などで災害に対して備えることが大切であると思っています。

3月定例議会では「本庁舎の耐震化について」等の一般質問をしましたのでその内容を報告いたします。(詳しくはYouTubeの“各務原市議会”と検索し、動画をご覧ください)

予算書

各務原市 平成27年度一般会計予算について

◆平成27年度一般会計予算は463億5千万円(前年度比41億1千万円増、9.7%増)
小中学校冷暖房設備整備(約13億円)、川島市民サービスセンターと鶴沼市民サービスセンター建設(約6億円)、庁舎等整備基金への積立(10億円)などが増加の要因です。

◆平成27年度市税収入は198億3千万円(前年度比4億1千万円減、2.0%減)
企業収益が厳しいなどにより市民税が減収し、家屋評価替えで固定資産税・都市計画税も減少となり前年度比2.0%減となります。
財源確保のために前年度比20億円増の36億7千万円の基金を取り崩し、合併特例債や臨時財政対策債などの借金を前年度比4億円増の28億8千万円計上します。

新年度予算を「桜町の各務家」に例えました。
お父さん：「今住んでいる家はそんなに古くないけど耐震補強しないといけないので、いっそ建て替えをしよう。給料は減ったけど貯金はあるし、一部は借金をして返していけば、お爺さんも援助してくれるだろうし、家ぐらい建て替えても大丈夫、何とかなるさ。」
お母さん：「子どもの学費はかかるし、お婆さんが入所している介護施設の費用は高いのよ。お父さんの収入は減ったし、頼りのお爺さんも大きな借金があるのよ。もうこれ以上頼れないわ。私たちの老後も不安だし、建て替えはやめて、耐震補強で出費を抑えましょう。壊すのは勿体ないわ。」
こんな夫婦の会話が聞こえてきそうです。

議員海外視察研修の中止を！

志政かかみの

各務原市は全国市議会議長会が主催する海外視察研修に、ほぼ毎年議員が公費で参加しています。昨年は2名の議員がヨーロッパ研修に参加しており、新年度予算には1人70万円、4人分計280万円を計上しています。会派代表者会議において「議員の海外派遣は中止するべき」と提案しましたが、まともな議論をさせてもらえませんでした。海外視察研修は主催者が予め決めた行程で行動することになりますし、言葉の壁もあり、市の課題に対する成果が得られにくくなっています。過去の視察によって得られた成果も考えると、視察に必要な費用に対する効果は限定的であり、公費負担による海外視察研修を中止にするべきと考え、各務原市議会では初めてとなる“一般会計予算修正案”を提案しました。

しかし、5人の委員で採決の結果、賛成2、反対3で否決されました。

反対議員の意見は「百聞は一見に如かずで、現地に足を運ぶことは大切」という内容でした。

市役所本庁舎耐震化の議論で 市が説明した2つの誤り



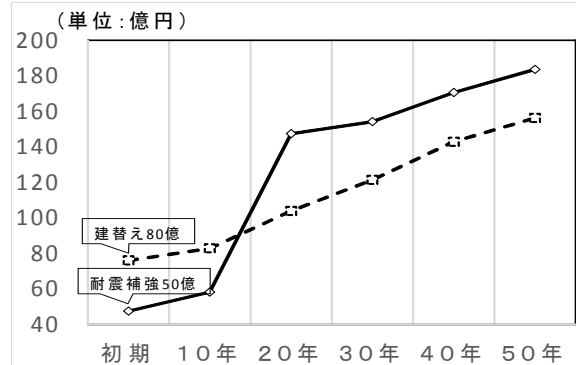
本庁舎耐震化問題で「耐震補強工事」をするのか、「建替え」にするのか昨年7月から議論されてきました。最終的に

浅野市長は「建替え」と決定しました。

① コンクリート構築物の寿命は65年

コンクリート劣化度調査結果から、本庁舎は築年数（築42年）に応じた平均的な劣化状況であり、日本建築学会仕様書（JASS5）に基づき耐用年数を65年とすると説明しました。

② 50年間トータル経費は「建替え」が安い
建替えは約80億円、設備改修を含む耐震補強は約50億円とした場合の50年間トータル経費は下記のグラフと示されました。耐震補強は初期費用が安くても、20年後には耐用年数を迎え、改めて80億円の建替え費用が生じ、グラフが逆転すると説明しました。



公共施設は「作る」から「活かす」へ 市役所本庁舎は「建替え」より「耐震補強」をするべき

他の公共施設は65年以上使用

旧21号に架かる那加橋は大正13年建設で築90年以上使用していますし、学校校舎の中には60年近く使用している物もあり、定期的な維持補修や耐震補強工事により出来るだけ長く使用しようと計画しています。コンクリート構築物は定期的な維持補修をすれば100年以上使うことができると言われています。今ある道路・橋・上下水道などのインフラや、建物などの公共施設、などを維持管理するだけでも莫大なお金が必要で、これからの人口減少・少子高齢化社会を考えると、財政面で大変な時代がくることは確実です。そのような時に、なぜ本庁舎を50年も経たずに壊して、100億円もかけて建替えなければならないのでしょうか。

市民、市職員の安全確保が優先！

建替えをした場合、平成32年度（2020年）完成を予定しており、あと5年かかります。しかし、それまでのあいだ耐震補強工事は行われず、明日おきるかもしれないと言われる大震災が発生すれば、多くの犠牲者が出る可能性があります。耐震補強工事のみでは約20億円、1年程で完成すると試算されています。今すぐ耐震補強工事にかかり、市民や市職員の安全を確保するのが最優先です。建替えには80億～100億円が必要と試算されましたが、建築価格が上昇しており、今後も東京オリンピックなどが要因で上昇が続くと思われ、最終的にいくらかかるか予測ができません。まずは耐震補強をして現在の市役所本庁舎を使い続けるべきと考えます。

○議会インターネット中継について：「Youtube」又は、「杉山もとのり」のホームページから議会中継録画がご覧いただけます。

また、私の日常の活動をFacebookで更新していますのでご覧ください。

※Facebookは「杉山元則」、「各務原市議会議員 杉山もとのり」で検索してください



【杉山もとのり事務所】〒504-0905 各務原市蘇原六軒町2丁目9番地

ホームページ <http://sugiyama-m.com> 電話/FAX 058-383-2900